



みんなのページ

身の回りの出来事などを500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。
 ■あて先 〒950-1292 白根市大字白根1235 白根市企画財政課広報コミュニティ係

町内旅行の一日

児玉 美知子
 (五十五歳・親和町)

わたしは四年前から、親和町のアパートに住んでいます。「和して親しく」という町名にふさわしい催し物がたくさんあります。春はお花見、夏はお祭り、秋は旅行と皆さん仲良く行事に参加しています。

今年の町内旅行は九月十四日で、ちょうどわたしの誕生日でした。町内の方々から、お祝いの拍手をたくさんいただくことができました。真夏のような太陽、青空に白い雲、深い緑の山の木々、橋の下には川のせせらぎ。車は美しい大自然の中を一筋に目的地へ。山の広場ではお弁当とビールを、旅館では温泉で良い湯を楽しむなど町内和気あいあいでした。秋の一日、心温まる誕生日となりました。

戦前を忍ぶ

山岡 フミ
 (八十八歳・高校前通)

戦前、暖房や食事作りの火を起す燃料は、山から薪などを背負って市日に来た人から買っていました。朝は家族が起きる前に、買った薪をかまどにくべて火を付け、ご飯を炊いたり汁物を作ったりしていました。家族そろって「おはよう」とあいさつをしてからの食事。それが済めば、みんな一斉に家を出ました。

家に残った人は子守りや針仕事。昼食は残り物で済ませたこともありましたが、夕食は少し弾んで魚や肉料理。ちなみにこのころのカレーライスと言えは、小麦粉にカレー粉をかき混ぜたものでした。食事の残り物は犬などの餌にし、捨てる物といえばガラスか瀬戸物の壊れた物くらい。ゴミ問題など誰も思いもよらない時代でした。現在は自由飽食、使い捨てが美德とされ、大正の者には目に余る事ばかり。次の世代を担う人々に優しくきれいな時を願う、戦前を忍び一言伝えたくつづらせていただきました。

親切な中学生に出会って

河内 勝哉
 (六十四歳・鬼新田)

わたしは心温まる素晴らしい中学生に出会い、その感激が今でも忘れることができません。そのことを皆さんにご紹介したいと思います。

それは、新潟県障害者体育大会が小須戸町で開催された時のこと。わたしも久しぶりに大会に出場しました。その会場には、ボランティアの方々も多く参加しており、中には中学生も多くいました。競技種目は郡市対抗の団体種目と、個人種目(レクリエーション)があり、わたしも団体の二種目と個人種目に出場しました。その際にはボランティアとして競技のお手伝いをしていた中学生が、わたしが競技に出るたびに優しく介助してくれました。その上、大会終了後の帰りのバスのところまで、わたしをサポートしてくれました。その気持ちのありがたさは、今も忘れることができません。

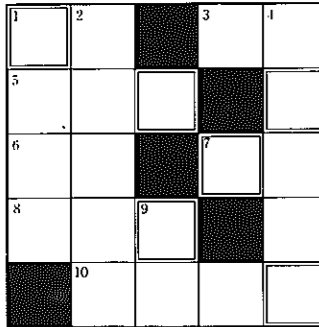


広報クイズ

図書券が当たる!

はがきに答え(完成図は不要です)、住所、氏名、年齢、市や広報紙への意見(市から回答が必要な場合は、その旨)を書いて、11月17日(月)必着で白根市企画財政課広報コミュニティ係(〒950-1292 白根市大字白根)へお送りください。※EメールでもOK。
 正解者の中から抽選で3人に500円の図書券、5人に粗品を差し上げます。正解者の発表は12月1日号で行います。9月1日号の正解はタイガース。正解者は27人でした。▼図書券 大滝みよ子(大通南4)、奥村幸子(清水)、田中竜介(栄町) ▼粗品 五十嵐朱里(大通1)、渋谷苑末(糞口)、知野翔太(砂原甲)、樋口綾香(庄瀬7)、山口真弓(和泉) ※敬称略

- ◆ヨコのカギ
 ①北米西岸に自生する巨木、〇〇イア
 ②スターを日本語で
 ③地球を包んでいる無色透明の気体
 ④水〇〇の悪い低地
 ⑤足の音読み
 ⑥雷が鳴って雨が降ること
 ⑦近くの県 〇〇〇〇の天気
- ◆タテのカギ
 ①セクシュアルハラスメントを略すと
 ②景気が良いこと ⇨不景気
 ③手先の技術によって物を製作する職業の人
 ④〇〇を天に任せる 〇〇試し



□の字をならべてください。
 11月9日

健康づくり

基礎調査シリーズ④

未成年の飲酒・喫煙の実態

今回は白根市在住の十七歳に実施した、「飲酒および喫煙に関する調査」の結果についてご紹介します。

■「飲酒」の調査結果
 十七歳で飲酒したことがある人が七二・五%(表1)、その中でも最近一カ月間で一日以上飲酒した人が五五・五%(表2)もいることが分りました。また飲酒は害があると思う人は六三・五%(表3)と、飲酒の害についての認識が低いことも分りました。アルコール類の主な入手先は、家庭が約八割、コンビニやスーパーが約三割。「お正月やお祝いの時は未成年でも少しは」というような家庭や地域での意識も問われるところです。

「喫煙」の調査結果

十七歳で喫煙をしたことがある人は

表1 [17歳の飲酒・喫煙経験者率(%)]

	経験者率		
	男子	女子	計
今までに「飲酒」したことがある	71.4	73.6	72.5
今までに「喫煙」したことがある	20.4	15.4	18.0

表2 [飲酒・喫煙経験のある子のうち、現在の摂取状況(%)]

	計		
	男子	女子	計
最近1カ月で1日以上飲酒した	57.1	53.7	55.5
時々または頻繁に喫煙している	45.0	35.7	41.2

表3 [飲酒・喫煙の害についての認識(%)]

	飲酒			喫煙		
	男子	女子	計	男子	女子	計
1. 害はないと思う	8.2	4.4	6.3	3.1	5.5	4.2
2. 大したことはないと思う	23.5	25.3	24.3	4.1	3.3	3.7
3. 害があると思う	63.3	63.7	63.5	90.8	90.1	90.5
4. わからない	5.1	6.6	5.8	2.0	1.1	1.6

市内在住の17歳、550のうち、193人が回答

広かれ

健康家族

144 保健福祉課
 ☎237

一八・〇%(表1)と、確かに飲酒経験者の割合と比べると少ないように見えますが、喫煙経験者の中で、時々または頻繁に吸っている人が四一・二%(表2)と習慣化の傾向にあります。またこの主な入手先については、自動販売機が約九割と圧倒的に多く、社会環境を整えることも未成年の喫煙をなくす上で大切です。また「かつこよさそうに見えるから」とか「友達から勧められて」といふような理由に、強い意志と勇気を持つことも大切です。以上のことから分かるように、未成年の健康を守るには、家庭や地域の役割がとても重要と言えるでしょう。

市天文章

俳句
 穂薄となり川風をほしいまま 安澤 飛浪
 枝豆の十五夜豆でふや小振り 本間しげ子
 家守のポプラ並木に秋の風 木村 トリ
 この路地のみな住み替は秋の風 相田 照子
 鳳仙花ははれば種のはじけ飛ぶ 小林 すみ
 水仕事終へし厨の遠花火 堀内ナナ子
 秋風に追ひたてられて句座に着く 和泉 伸子
 病室の窓いっぱいの花火かな 笠原 里津
 癒えられて桃の一切れ旨さうに 小林 光子
 色づかぬ稲穂の波に一人佇つ 勝山 絢子
 吸ひ込まれさうな夕日の罫雲 五十嵐理恵
 法師蟬道をへだてて鳴き交し 古川 綾
 病む床の足元までの月明り 五十嵐寛吾
 三川村上川村や水の秋 公條 雪夫
 煩惱をひとつ捨て来し夕花野 真嶋つぎえ
 包丁研ぎ一息入れし秋夕餉 小林 なお
 紫蘇に手を染めりて夫とは、笑みぬ 石黒 陽子
 マニキュアの指先染めて葡萄食む 真嶋 裕子
 護摩堂の城址に立ちぬ秋の声 知野信一郎
 一輪を惜しみつつ切る彼岸花 小林富沙子
 佃煮の蝗食べたり京の宿 知野 慶子

都会子巨峰を剥きて口まんまるに 小林きみえ
 菊の香や金のふちどり招待状 石口十四二
 推敲を重ねあぐめば百舌の啼く 川村まさし

短歌

我れの着る鎧を一度ぬぎ捨てて友と心から話してみたい 出来島ミサホ
 一輪車に友の運べる初生姜香りがしく 星 ハツノ
 掛けたる得物にすばやく蜘蛛よれば張られし糸がゆらぎて光る 田中 恭子
 毎年をフルマラソンに出しよう青年走るなべて筋肉 村山 和江
 秋風が肌染み入る夕べなり鍋が恋しく 里芋洗う 大塚 イツ

川柳

ふる里の川に流れている系図 今井 七郎
 行きがけの小言すんと胃に溜まる 織田 セツ
 飽食に鉄槌下ろす不作かも 大谷 龍吉
 幸せは努力の後についてくる 河内 勝哉
 叱られて叱って進む夫婦舟 田村 恒夫
 自画自賛昔い月夜の十三夜 中村 尚治
 敵の矢もライバルもなき群れの中 西条 ムラ
 泣きながら茄子をほめてる辛子漬 山岡 フミ
 踏まれてもおなマイペース嬢の列 吉川 彰
 婦唱夫随妻のわたしがルールです 今井八重子
 雑草に戦挑んで鎌を研ぐ 田中 弘子
 無農薬安全野菜虫も喰う 五十嵐耕野